

魚道のこと、『環境工学』にご相談ください

河川の特성에応じた魚道作りをお手伝いいたします。
魚道のことはご相談ください。



環境工学株式会社 東京営業所
http://www.kankyo-kogaku.co.jp/

TEL042-525-7050 FAX042-526-6313

棚田式魚道ブロック

自然石を用いたコンクリートブロックを棚田式に配置して魚道を作る工法です。二次製品化することで魚道としての安定した品質と簡易な施工を実現しました。

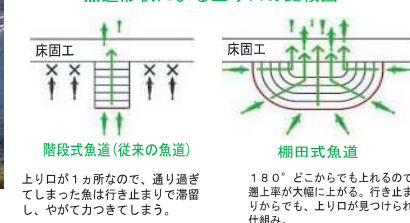


◎特長その1 どこからでも遡上が可能



魚道水中の様子

魚道形状による上り口の比較図

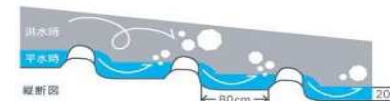


遡上率は約3倍！

自社で行った調査では、約67%の水生生物が左右のエリアから遡上しました。

◎特長その2 土砂が堆積しにくいメンテナンスフリー構造

洪水時に土砂が堆積しない構造



堆積する空間がないので、水流によって土砂などが下流へと運ばれていく仕組み。



洪水後の減水時の魚道には堆積土砂や流木などの残留物がない。

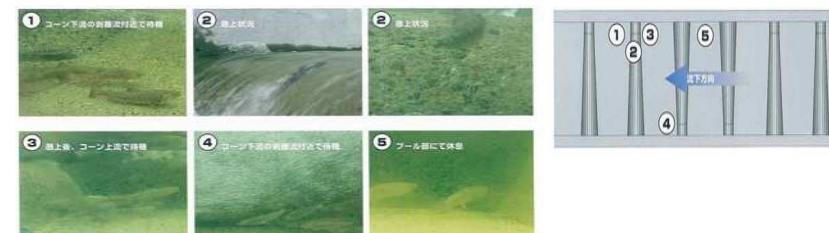
※棚田式魚道は国土交通省中部地方整備局と(株)山辰組の共同開発による特許魚道です。

コーン型魚道ブロック

プレキャスト式コーン型ブロックを2基ごとに交互に配置して魚道を作る工法です。蛇行した流れと多様な水深・流速が様々な魚類の遡上を助けます。

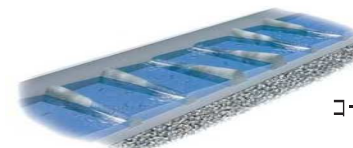


◎特長その1 魚が遡上・降下しやすい構造



イwana・ヤマメを放流し、調査を行った結果、遡上を確認することができました。

◎特長その2 多様な魚類に対応



コーン越流部の水深が変化し、遡上流速の違う多様な魚類に対応します。